

布施辰治の略歴 - 朝鮮人との関わりを中心に

1875年	江華島事件
1905年	第二次日韓協約(乙巳保護条約)
1909年	安重根、伊藤博文を銃殺
1910年	「日韓併合」
1919年	3.1 独立運動
1923年	関東大震災
1925年	治安維持法公布・施行
1931年	満州事変
1937年	盧溝橋事件
1941年	真珠湾攻撃
1945年	日本の敗戦 = 朝鮮の解放
1948年	朝鮮学校閉鎖令、阪神教育闘争
1949年	在日本朝鮮人連盟強制解散

1880年	宮城県に生まれる。
1902年	明治法律学校を卒業。判事検事登用試験に合格、司法官試補となる。
1903年	検事代理を辞し、弁護士となる。
1911年	「朝鮮の独立運動に敬意を表す」を書き、検事局で取り調べを受ける。
1920年	朝鮮人留学生による2・8独立宣言のピラに対する弾圧事件(「出版法違反事件」)の二審で弁護人となる。
1923年	京城地方法院で義烈団員、金始顯の弁護をする。関東大震災の朝鮮人大虐殺について、自由法曹団の先頭にたつて調査、抗議活動に奔走する。朴烈、金子文子の大逆事件の弁護人となる。
1927年	京城地方法院で、朝鮮共産党事件の弁護をする。
1930年	新聞紙法、郵便法違反で起訴される。解放運動犠牲者救援弁護団の幹事長、全農全国会議弁護士団の幹事長となる。
1932年	懲戒裁判で大審院判決があり、弁護士除名が確定する(33年12月、恩赦により復活)。
1933年	新聞紙法事件で上告棄却が確定(禁錮3カ月)し、下獄する(4月。7月に出獄)。
	日本労農弁護士団一斉検挙事件に連座して検挙、拘置される(9月。治安維持法違反容疑 1935年3月保釈)。
1939年	日本労農弁護士団(治安維持法違反容疑)事件で上告棄却(懲役2年未決算入200日)となり千葉刑務所へ下獄する(1940年出獄)。これにより再度弁護士登録抹消(6月)。
1944年	治安維持法違反容疑の布施杜生(三男)が、京都山科刑務所で獄死する。
1948年	阪神教育闘争時のいわゆる「神戸朝鮮人学校騒乱事件」(軍事裁判)で弁護人となる。国旗掲揚事件で弁護人となる。三鷹事件、松川事件の弁護人になる。秋田のドブロク事件の弁護人となる。
1949年	～ 深川事件、朝連・民青強制解散事件、東京朝鮮高校事件、台東朝鮮人会館事件などを弁護
1952年	メーデー事件、吹田事件の弁護人となる。
1953年	末期内臓癌のため9月13日逝去(享年72)



* 「布施先生記念国際学術大会の記録」所収の『弁護士布施辰治による朝鮮民族の人権擁護と敗戦後の評価』(森正 著)にある年表をもとに作成



撮影: Les Hommes

監督: 池田博穂

1950年秋田県生まれ。法政大学を卒業後全農映をふりだしに助監督・監督として現在に至る。

山本薩夫、今井 正、橋 祐典などの監督に師事。「豊饒の大地」「東京大空襲・子どもたちの証言」「江戸前料理・粋と洒落」「犬張子」、その他テレビドキュメントを含めて多数製作。

「憲法? 今と未来の世代のために」(ビデオ)、長編記録映画「時代を撃て多喜二」、「赤貧洗うがごとき-田中正造と野に叫ぶ人々」、「つくられる自白志布志の悲劇」は人権・環境・平和・人間の勇気を描いて全国で好評上映中。

「監督・脚本」池田博穂
「主演」赤塚真人
「朗読」中村雅俊(友情出演)
詳しくは
<http://www.fuse-tatsuji.com>